

- ・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通して、12ヵ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
- ・ PPE の点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
点検に関する資料はペツルのウェブサイト PETZL.COM からダウンロードできます。



ネスト - ステフ

1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります:

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPE に生じた特殊な事象を全て記録する
(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

	00	000	AA	0000
製造年	□	□	□	□
製造日	□	□	□	□
検査担当	□	□	□	□

コード B:

	00	A	0000000	000
製造年	□	□	□	□
製造月	□	□	□	□
製造番号	□	□	□	□

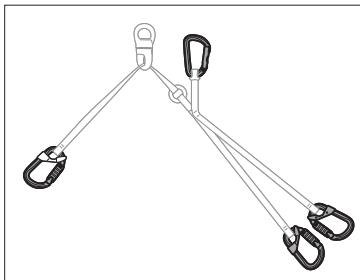
耐用年数が過ぎていないことを確認してください。

新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

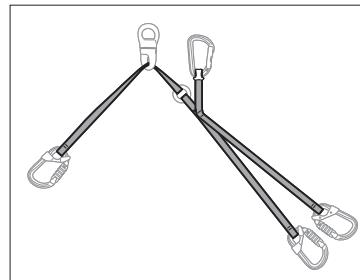
備考: コード B の製造月は1文字のアルファベットで表記されています。A = 1月、B = 2月、C = 3月等

3. ステフの状態の確認

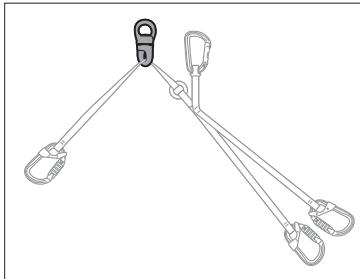
- ・ コネクターの点検については、そのモデルの点検フォームを PETZL.COM から参照してください。



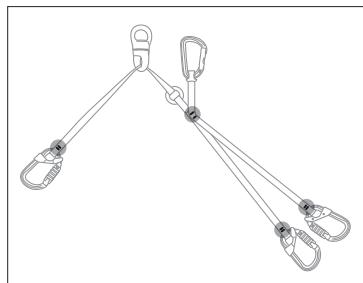
- ・ ストラップの状態を確認してください。(使用、熱や化学製品との接触による、切れ目、毛羽立ち、損傷や摩耗等がないこと)



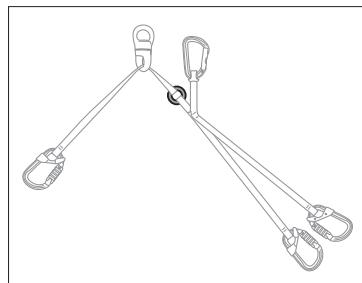
- ・ スイベルの点検については、そのモデルの点検フォームを PETZL.COM から参照してください。



・安全に関わる縫製の状態を両側について確認してください。繊維糸にゆるみ、摩耗、または切れ目がないことを確認してください。安全に関わる縫製は、ウェビングとは異なるカラーで識別できるようになっています。



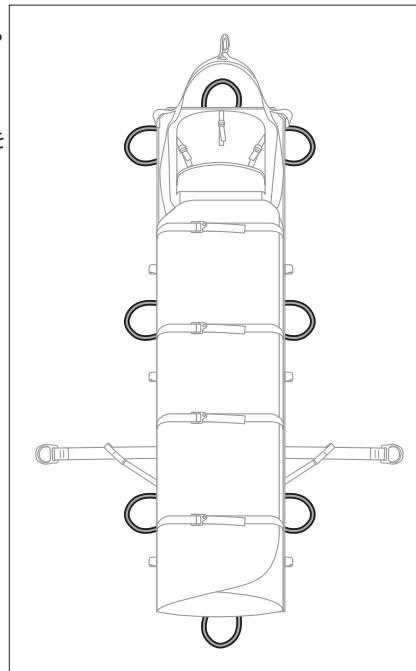
・金属製リングの状態(変形、ひび、傷、摩耗、腐食等)を確認してください。



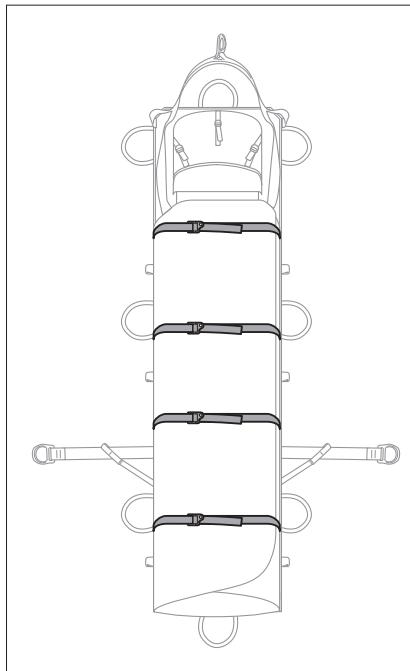
ネスト

4.外側のパーツの点検

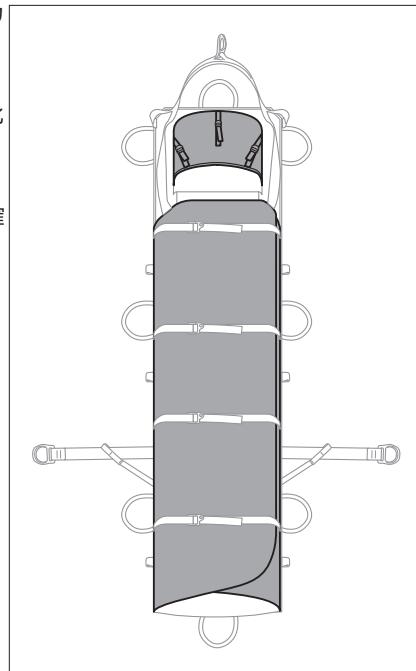
・搬送用ハンドルの状態(使用、熱や化学製品との接触による、切れ目、毛羽立ち、損傷や摩耗等がないこと)を確認してください。



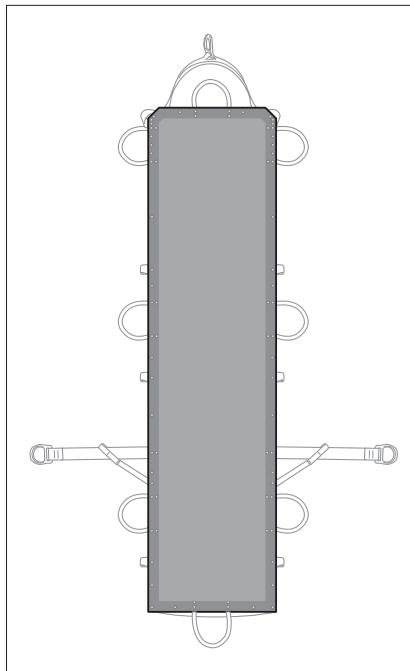
・フラップストラップの状態(使用、熱や化学製品との接触による、切れ目、毛羽立ち、損傷や摩耗等がないこと)および調節バックルの機能を確認してください。



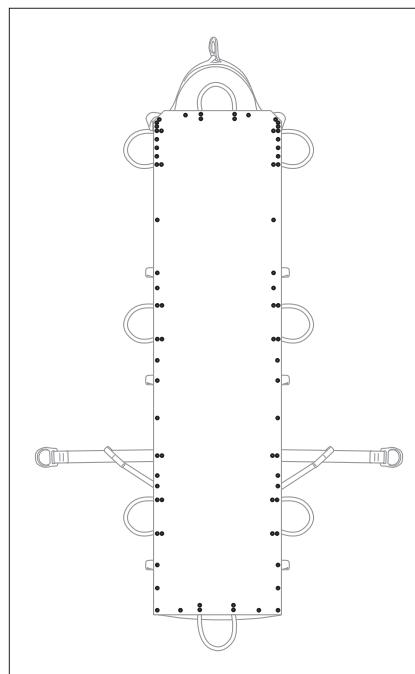
・フラップ、ヘッドカバー、フットカバーおよびそれぞれの調節ストラップの状態(使用、熱や化学製品との接触による、切れ目、毛羽立ち、損傷や摩耗等がないこと)を確認し、また調節バックルの機能を確認してください。



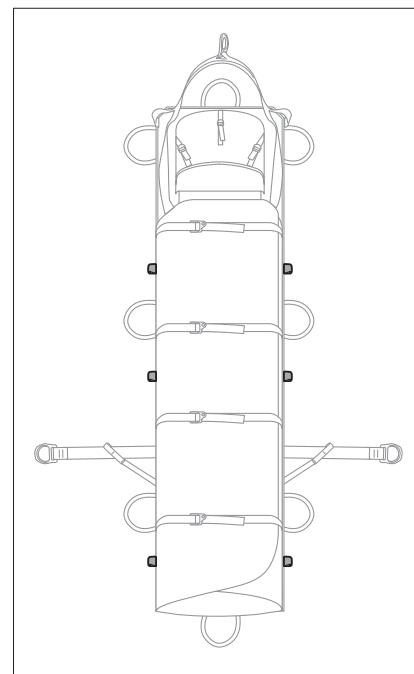
・カバーの表面の状態(変形、ひび、傷、摩耗など)を確認してください。



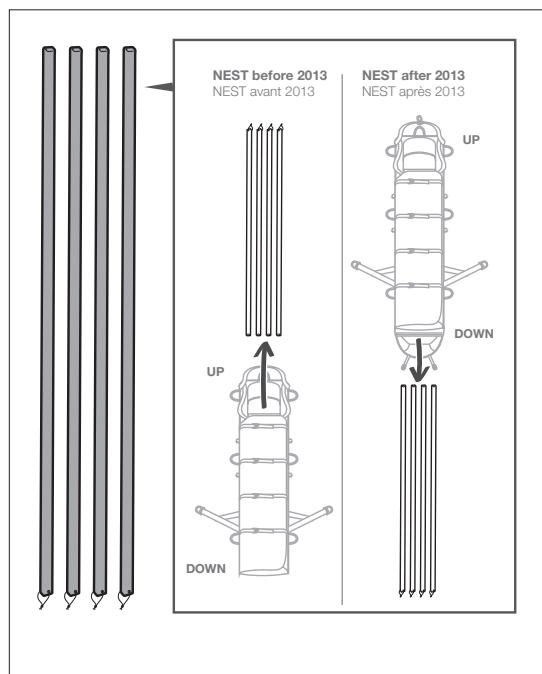
- リベットの状態(ゆるみまたは欠損、変形、ひび、傷、摩耗、腐食等)を確認してください。



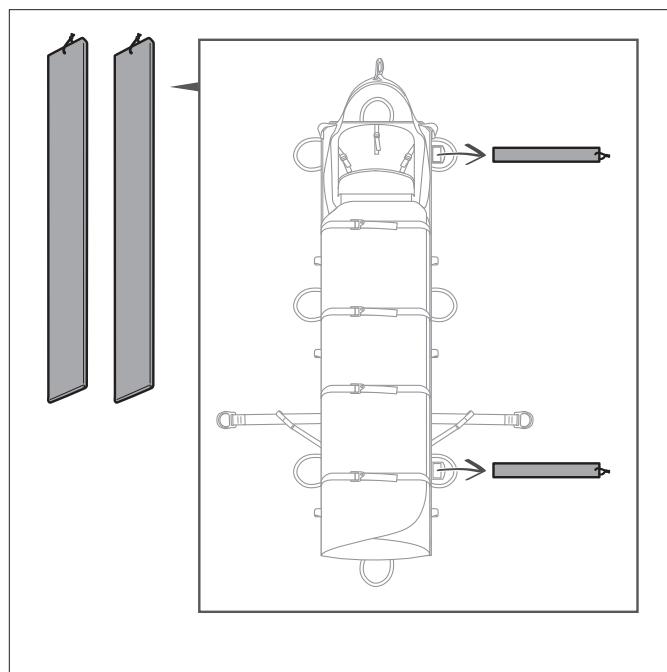
- 予備のアタッチメントポイントの状態(使用、熱や化学製品との接触による切れ目、毛羽立ち、損傷や摩耗等がないこと)を確認してください。



- 縦フレームを抜き取って状態(変形、ひび、傷、摩耗、腐食等)を確認してください。



- ・横フレームを抜き取って状態(変形、ひび、傷、摩耗、腐食等)を確認してください。

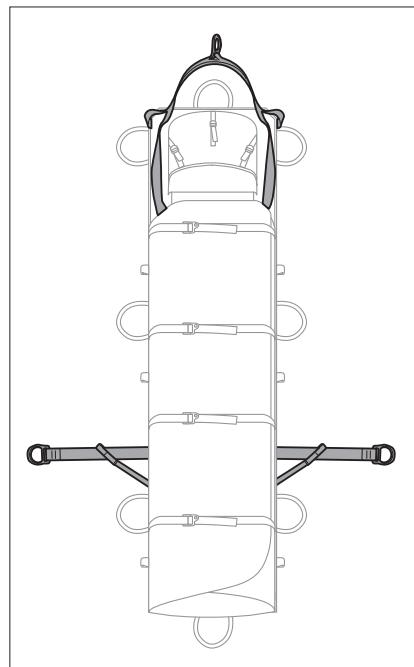


5.アタッチメントポイントの点検

- ・金属製アタッチメントポイントの状態(変形、ひび、傷、摩耗、腐食等)を確認してください。

- ・ストラップおよび繊維製アタッチメントポイントの状態(使用、熱や化学製品との接触による、切れ目、毛羽立ち、損傷や摩耗等がないこと)を確認してください。

- ・安全に関わる縫製の状態を両側について確認してください。繊維糸にゆるみ、摩耗、または切れ目がないことを確認してください。安全に関わる縫製は、ウェビングとは異なるカラーで識別できるようになっています。

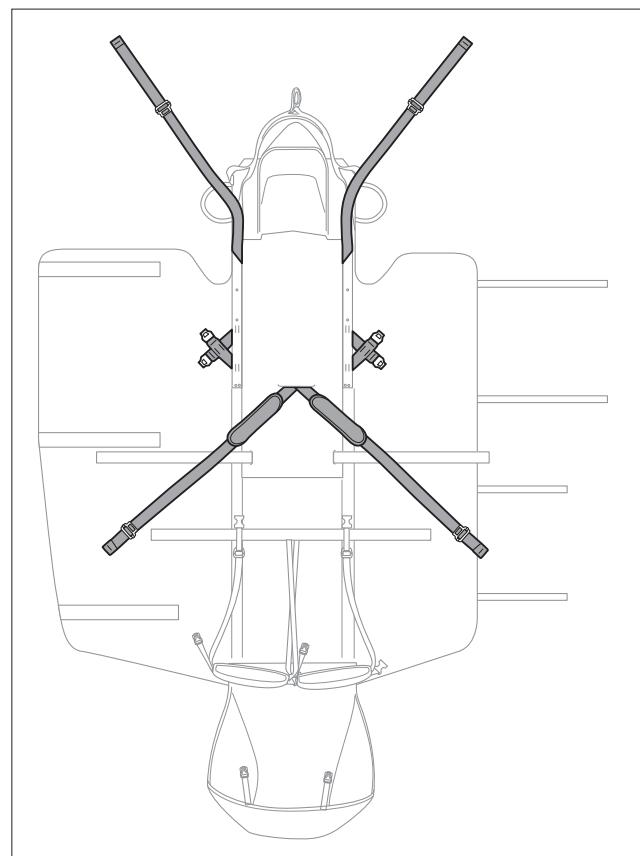


6.要救助者の固定用ストラップの状態の確認

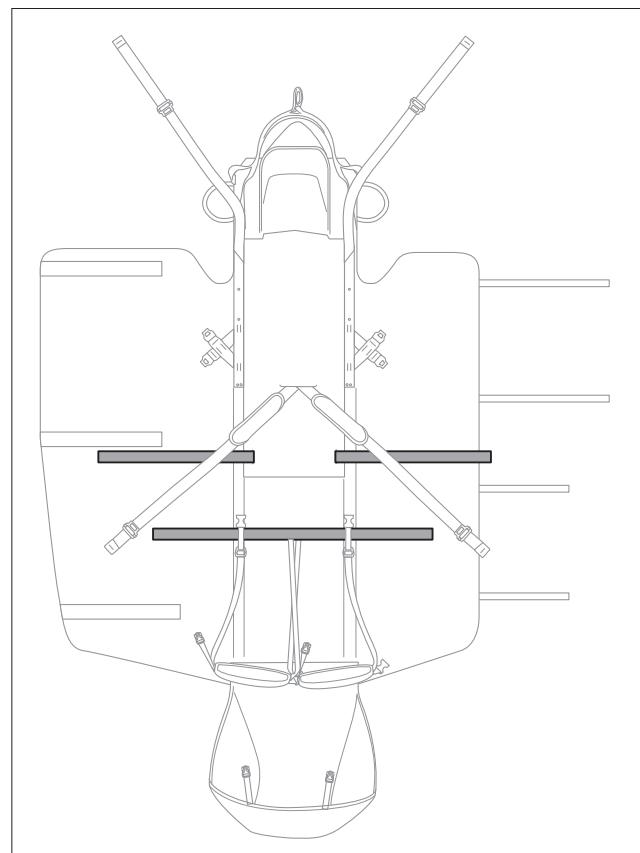
・ストラップの状態を確認してください。(使用、熱や化学製品との接触による、切れ目、毛羽立ち、損傷や摩耗等がないこと)

必要な場合は、フォームパッドを持ち上げてください。

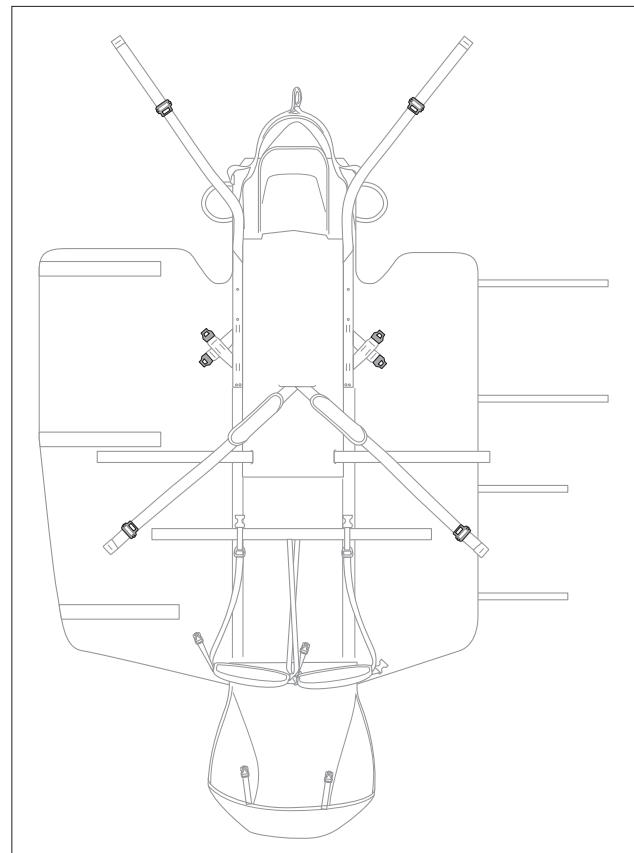
・ストラップの末端に抜け防止の折り返しがあることを確認してください。



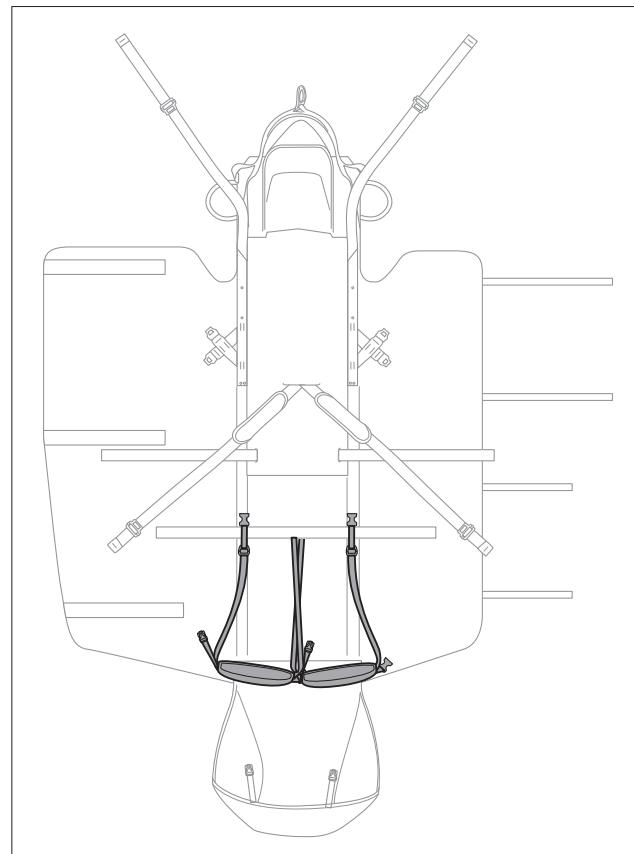
・安全に関わる縫製の状態を両側について確認してください。繊維糸にゆるみ、摩耗、または切れ目がないことを確認してください。安全に関わる縫製は、ウェビングとは異なるカラーで識別できるようになっています。



- FAST バックルの状態 (変形、ひび、傷、摩耗、腐食など) および適切に機能することを確認してください。



- 足掛けの状態 (使用、熱や化学製品との接触による、切れ目、毛羽立ち、損傷や摩耗等がないこと) および調節バックルが適切に機能することを確認してください。



- ・フォームパッドの状態を確認してください。

